

車両運搬確認成績書

申請日及び 申請書番号	令和元年 12 月 23 日 19 京大施環化第 190 号
受理日及び 受理番号	令和元年 12 月 23 日 原規規収第 19122311 号

令和 2 年 1 月
原子力規制委員会

車両運搬確認成績書

申請者	国立大学法人 京都大学
確認申請番号 (申請年月日)	19京大施環化第190号 (令和元年12月23日付け)
確認場所	原子力規制委員会 原子力規制庁 国立大学法人 京都大学 複合原子力科学研究所
確認対象	BU型核分裂性輸送物 <input type="text"/>
確認期日	令和2年1月6日 ~ 令和 2年 1月 17日
結果	添付1「確認記録」のとおり
確認を行った原子力規制 庁職員の名	添付1「確認実施者」のとおり
備考	

確認実施者

確認年月日	原子力規制庁	備考
令和2年 1月 6日	不原 圭一 小野 真人	良
令和2年 1月 14日	不原 圭一 吉澤 和美	良
令和2年 1月 15日	不原 圭一 吉澤 和美	良
令和2年 1月 16日	不原 圭一 吉澤 和美	良
令和2年 1月 17日	不原 圭一 吉澤 和美	良
令和2年 1月 23日	小野 真人	良

1. 運搬する核燃料物質等に関する説明書の内容確認記録（書面確認）

確認方法	判定基準	結果
使用する輸送容器ごとに収納された核燃料物質等の仕様について、申請書の添付書類1により確認する。	申請書の添付書類2の容器承認書添付表-1に定められた条件を満たしていること。	良
備考：		

2. 輸送容器が当該輸送容器の設計及び製作の方法に適合するよう維持されていることを示す説明書の内容確認記録（書面確認）

確認方法	判定基準	結果
使用する輸送容器が当該輸送容器の設計及び製作の方法に適合するよう維持されていることを、申請書の添付書類3により確認する。	申請書の添付書類3の輸送容器が輸送容器の設計及び製作の方法に適合するよう維持されていることを示す説明書に記載された最近の定期自主検査の判定基準を満たしていること。	良
備考：		

3. 核燃料輸送物発送前点検確認記録（現地確認）

（① 外観検査）

1. 確認方法、判定基準

確認項目	確認方法	判定基準
名称	輸送容器の名称、承認容器登録番号等が申請書と一致することを目視により確認する。	輸送容器の名称、承認容器登録番号等が申請書と一致すること。
外観	輸送物の外観状況を目視により確認する。	き裂、異常な傷、変形等がないこと。
シール (封印)	輸送容器のシール等の状況を目視により確認する。	みだりに開封されず、かつ、開封された場合に開封が明らかとなるよう、輸送容器にシール等の措置が講じられていること。

2. 確認結果

確認対象 (承認容器登録番号)	確認日	結果	備考

3. 核燃料輸送物発送前点検確認記録（現地確認）

（② 重量検査）

1. 確認方法、判定基準

確認項目	確認方法	判定基準
重量	輸送物の総重量の測定を立会により確認する。	輸送物の総重量が申請書の値（設計基準値）を超えないこと

2. 確認結果

確認事項	結果	確認日、確認者、確認場所
適切に校正又は検証された測定機器を用いて測定されていることを確認する。	良	下表の各確認対象に対するものと同じ。

確認対象 (承認容器登録番号)	確認日	輸送物の総重量	結果	備考
--------------------	-----	---------	----	----

--	--	--	--	--

3. 核燃料輸送物発送前点検確認記録（現地確認）

（③ 表面密度検査）

1. 確認方法、判定基準

確認項目	確認方法	判定基準
表面密度	輸送物表面における放射性物質の表面密度の測定を立会により確認する。	表面密度限度（ α 線を放出する放射性物質については $0.4\text{Bq}/\text{cm}^2$ 、 α 線を放出しない放射性物質については $4\text{Bq}/\text{cm}^2$ ）を超えないこと。

2. 確認結果

確認事項	結果	確認日、確認者、確認場所
適切に校正又は検証された測定機器を用いて測定されていることを確認する。	良	下表の各確認対象に対するものと同じ。

確認対象 (承認容器登録番号)	確認日	表面密度限度 (最大値： Bq/cm^2)	結果	備考



3. 核燃料輸送物発送前点検確認記録 (現地確認)

(④ 線量当量率検査)

1. 確認方法、判定基準

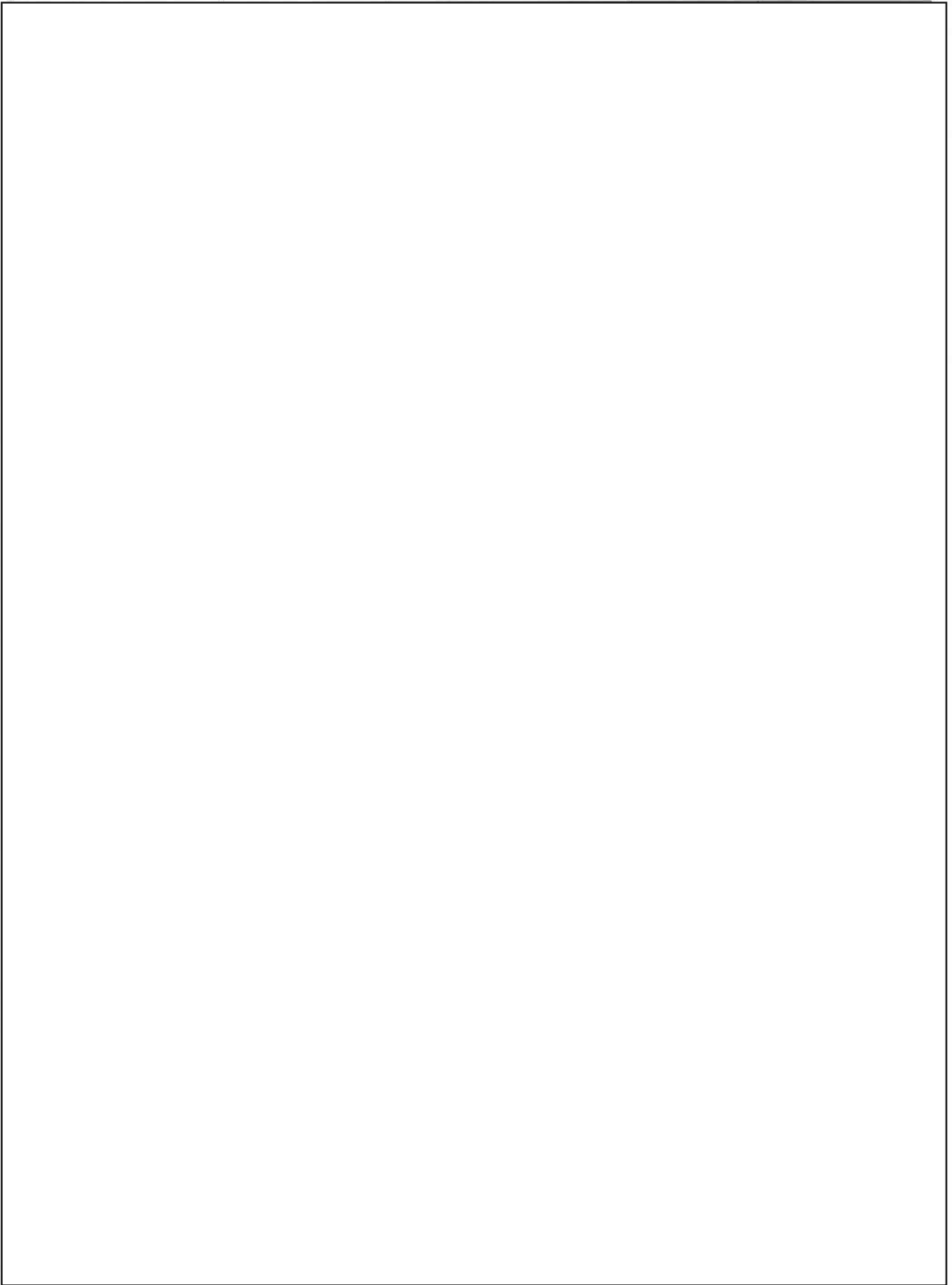
確認項目	確認方法	判定基準
線量当量率	輸送物の表面並びに表面から 1 m 離れた位置におけるガンマ線量当量率及び中性子線量当量率の測定を立会により確認する。	ガンマ線量当量率及び中性子線量当量率の合計が輸送物の表面で 2mSv/h を超えないこと並びに輸送物表面より 1 m 離れた位置で 100 μ Sv/h を超えないこと。

2. 確認結果

確認事項	結果	確認日、確認者、確認場所
適切に校正又は検証された測定機器を用いて測定されていることを確認する。	良	下表の各確認対象に対するものと同じ

確認対象 (承認容器登録番号)	確認日	線量当量率 (最大値: μ Sv/h)	結果	備考
--------------------	-----	----------------------------	----	----

--	--	--	--	--



3. 核燃料輸送物発送前点検確認記録 (現地確認)

(⑤ 未臨界検査)

1. 確認方法、判定基準

確認項目	確認方法	判定基準
未臨界	臨界防止に関する部材の外観状況について目視により確認する。また、収納物の収納方法を目視により確認する。	臨界防止に関する部材の外観にき裂、異常な傷、変形等がないこと。また、収納物が所定の収納方法で収納されていること。

2. 確認結果

確認対象 (承認容器登録番号)	確認日	結果	備考

3. 核燃料輸送物発送前点検確認記録 (現地確認)

(⑥ 収納物検査)

1. 確認方法、判定基準

確認項目	確認方法	判定基準
外観	収納物の外観状況を目視により確認する。	収納物の外観にき裂、異常な傷、変形等がないこと。
仕様	収納物の仕様（種類、重量、収納数）が申請書のとおりであることを立会により確認する。	収納物の仕様が申請書の内容を満足し、かつ、容器承認書の条件を満足していること。
物品	核燃料物質等の使用等に必要書類その他物品（核燃料輸送物の安全性を損なうおそれのないものに限る）以外のものが収納されていないことを目視により確認する。	核燃料輸送物の安全性を損なうおそれがあるものが収納されていないこと。

2. 確認結果

確認対象 (承認容器登録番号)	確認日	結果	備考

3. 核燃料輸送物発送前点検確認記録 (現地確認)

(⑦ 気密漏えい検査)

1. 確認方法、判定基準

確認項目	確認方法	判定基準
気密漏えい	輸送物の気密漏えい率 (収納容器シール部に <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 以上の空気圧を 10 分間 加え、圧力降下法により漏えい率を測定) の測定 を立会により確認する。	漏えい率が 1×10^{-4} std-cm ³ /s を超 えないこと。

2. 確認結果

確認事項	結 果	確認日、確認者、確認場所
適切に校正又は検証された測定機器を用 いて測定されていることを確認する。	良	下表の各確認対象に対するものと 同じ

確認対象 (承認容器登録番号)	確 認 日	気密漏えい率 (std-cm ³ /s)	結 果	備 考